

# ニュース NEWS な PHOTO

白鳥自治会からのクリスマスプレゼント

12/15  
水

## サンタが白鳥にやってきた！

北部児童館で、新企画の世代間交流イベント『サンタが白鳥にやってきた！』が開催されました。

白鳥自治会の清水末男会長ら役員3人が、3太、4太、5太というサンタクロースに扮し、一足早いクリスマスを演出。しかも、3太らの話す言葉は全て“英語”という徹底ぶり。この日のために準備した『手作りマジック』を子どもたちからの“かわいいやじ”を上手く生かしながら披露した後、白い大きな袋から1人ひとりにお菓子のプレゼントを手渡しました。

磯村 紫芳さん(高嶺小3年生)は「マジックのタネが分かっちゃったけど、面白かった。また来年も来てほしい」と笑顔で話していました。



商工会青年部の皆さん、ありがとう！

12/21  
火

## 児童から遊具塗装へのお礼状を贈呈



昨年秋に町商工会青年部が地域貢献事業として行った高嶺小学校の遊具塗装。児童らが新しいものに取り換えられたと思うほど、きれいな遊具に生まれ変わりました。

全校児童を代表して児童会役員から青年部の皆さんに、クラスごとに色画用紙で作成したお礼状を贈呈しました。

松島 明花さん(6年生)は「見違えるようにきれいになりました。おかげで、まわりが明るくなったように感じます」と感謝の気持ちを伝えていました。

大学生が中学生の学習をサポート

12/24~1/6  
金 木

## 冬の学習支援

冬休み期間中の6日間、大学生が中学生の自主学習をサポートする「冬の学習支援教室」を町立3中学校の特別教室などで開設しました。

マスクやフェイスシールドの着用、消毒、換気などの新型コロナウイルス対策を徹底した会場で、参加した約50人の中学生は自主学習に励みました。近隣の大学に通う大学生サポーターは、中学生からの質問に分かりやすく答えるなど、丁寧にサポートをしていました。

参加した東郷中学校2年の神谷遥凧さんは「みんなが、がんばっている姿を見ると刺激になるし、大学生の講話を聴いて受験への意識が高まったので参加して良かった」といい、学習サポーターの愛知教育大学2年の古井莉子さんは「一緒に勉強に取り組んだり、分からない問題を解いたりしたときの達成感などを共有できて、自分自身もいろいろ勉強になりました」と話してくれました。

